

大分三興メディカルセンター

OSMC ER 2024



OSMC ER

臨床3本柱

- ER

- 病院前救急（大分DMAT、Dr.Car）

- 検死

大分三県メディカルセンター

ER

Ambulance



OSMC ER 救急車搬入件数推移

2004年～2024年

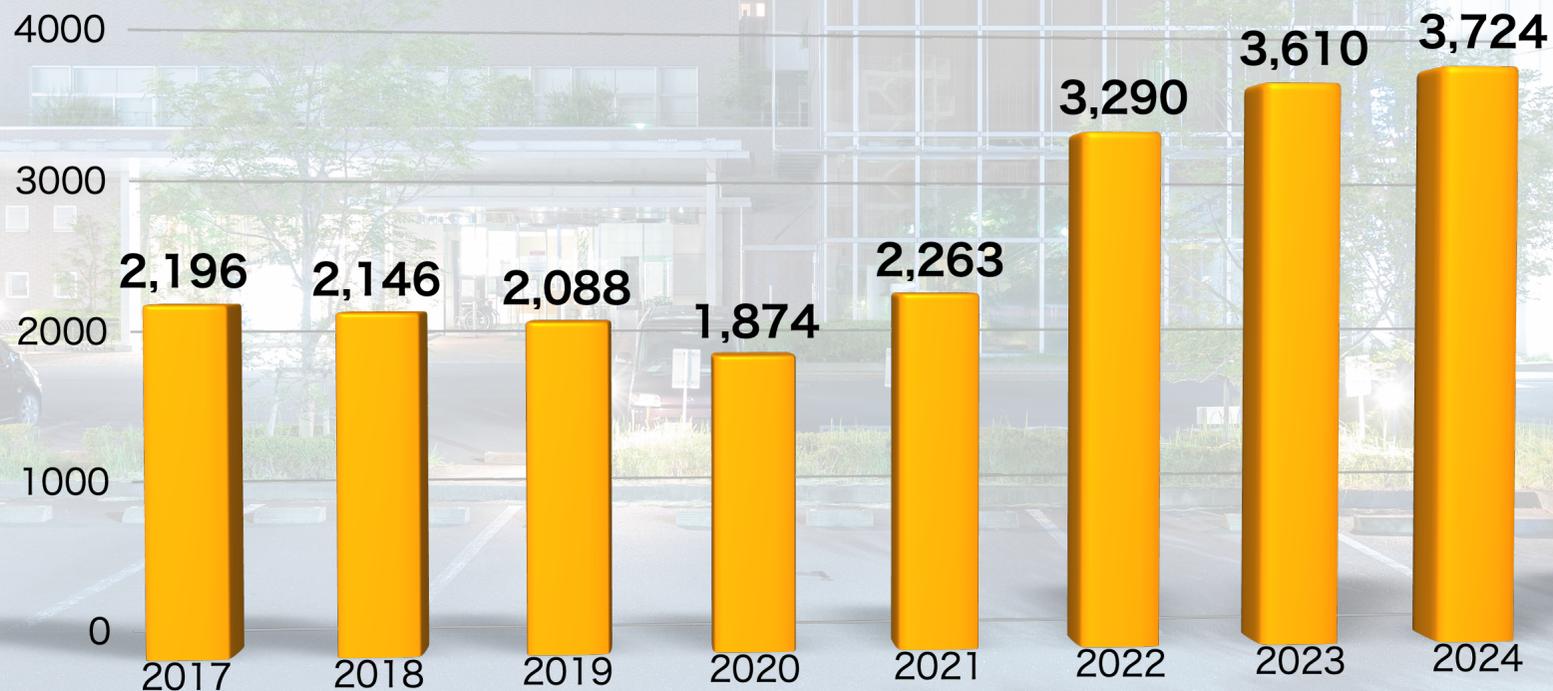


OSMC ER 救急車搬入要請件数

2017年～2024年

- 搬入要請全件数

- 2022年より要請件数が増えています（以前と比較し1,000～1,500件の増）
- 地域における救急医療機関としての期待、信頼の高さが伺え、これまでの取り組みが評価された結果と思われます

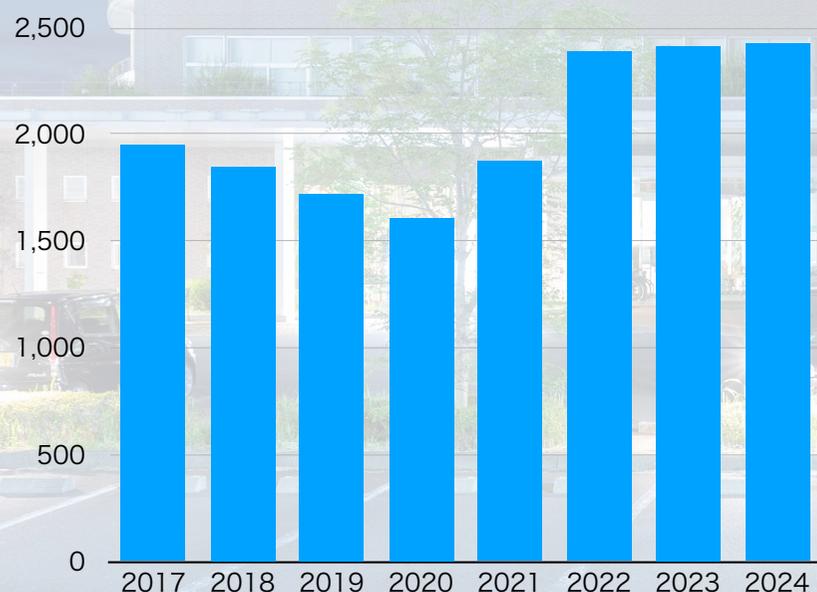


OSMC ER 救急車搬入受入件数

2017年～2024年

● 搬入受入件数（全体と日中・夜間）

- 2022年より要請件数増とともに受入件数が2000症例を超えました
- マンパワーが充実する日中の受入件数が多いのはもちろんですが、夜間も受入に努め、多くの症例を受入れています



年間救急搬入受入件数



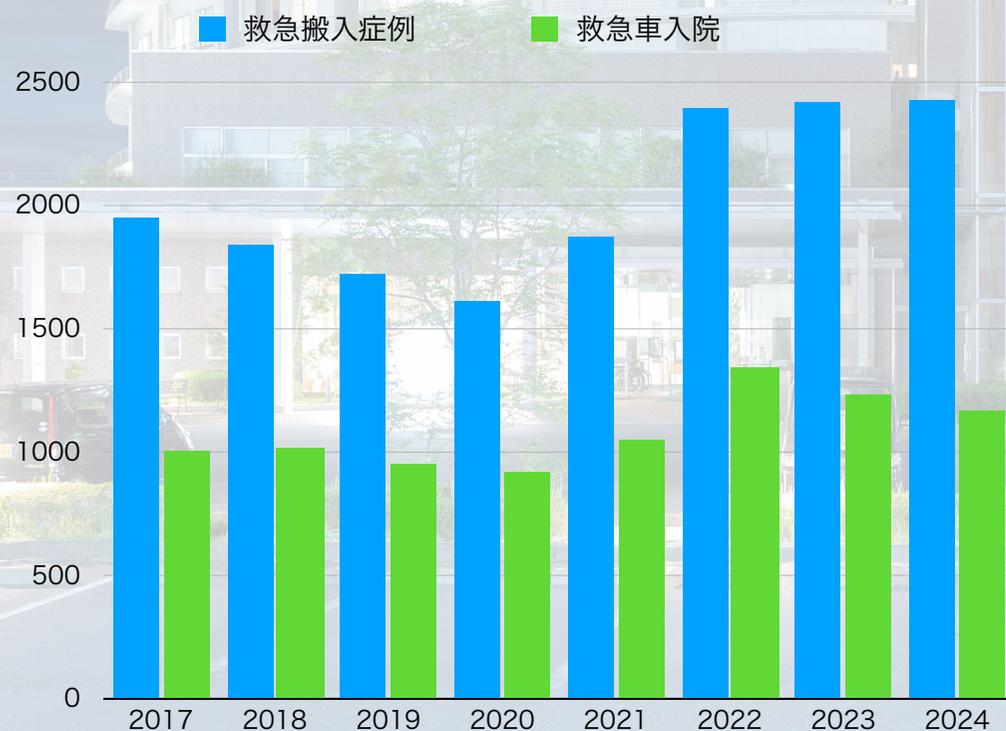
日中・夜間別年間救急搬入受入件数

OSMC ER 救急搬入後入院件数

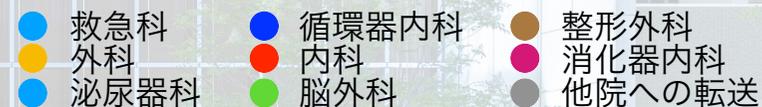
2017年～2024年

● 救急搬入後入院件数と入院診療科

- 救急搬入された症例のうち約50%が入院となっています
- 入院診療科は循環器内科、整形外科、内科が多くなっています（2024年）



救急搬入症例件数と搬入後の入院症例数



救急搬入後の入院診療科（2024年）

OSMC ER 救急車搬入断り件数

2017年～2024年

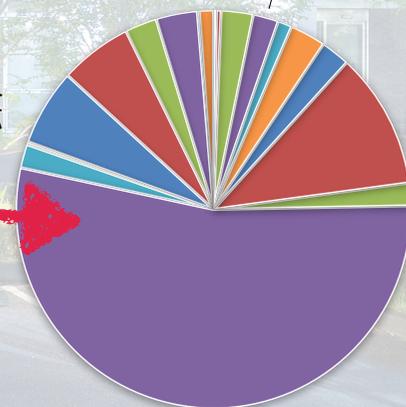
● 搬入断り件数

- 2023年より断り件数が1000症例を超えてしまいました
- 最大の要因は病床問題です
- 看護体制問題で190床の内、約20床が使用できないことで満床となることが多くなっています
- またコロナやインフルエンザにより病床運用に影響が出ています



救急搬入断り症例件数の推移

- 小児関連
- 産婦人科関連
- 精神科関連
- 形成外科関連
- 専門科無し
- 日当直医の専門外
- 高次医療機関適応
- 症例重複
- 病院選定問題
- 病床問題
- 医療機器問題
- 病院問題
- 診療科都合
- ?
- 患者要因
- 看護体制
- コロナ関連
- その他



救急搬入断り要因 (2024年)

OSMC ER 救急車搬入応需率

2017年～2024年

● 搬入応需率

- 受入要請件数が増す中、病院受入体制改善の進みが遅く、応需率が低下傾向にあります
- 病院として現状をしっかりと受け止め、地域のための救急医療機関としてその役割を果たすよう今後しっかりと取り組まなければいけません





病院前救急

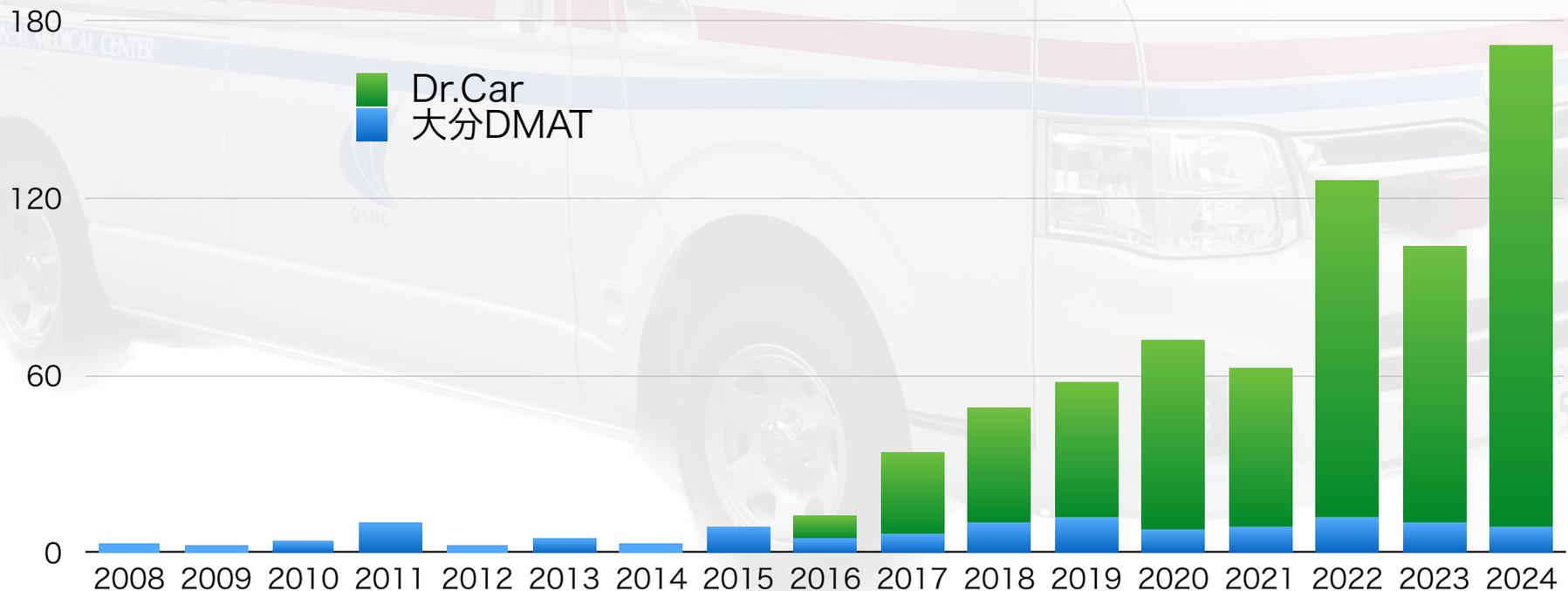
大分DMAT・Dr.Car

OSMC ER 病院前救急活動

2008年～2024年

- 活動件数（傷病者接触件数）

- 2008年より大分DMAT指定医療機関となり大分DMAT活動に取り組んでいます
- 2016年7月より大分市消防局とドクターカー協定を締結し、以後Dr.Car活動に取り組んでいます
- 大分DMAT活動は概ね年間10件前後の推移ですが、Dr.Car活動は増加傾向にあります

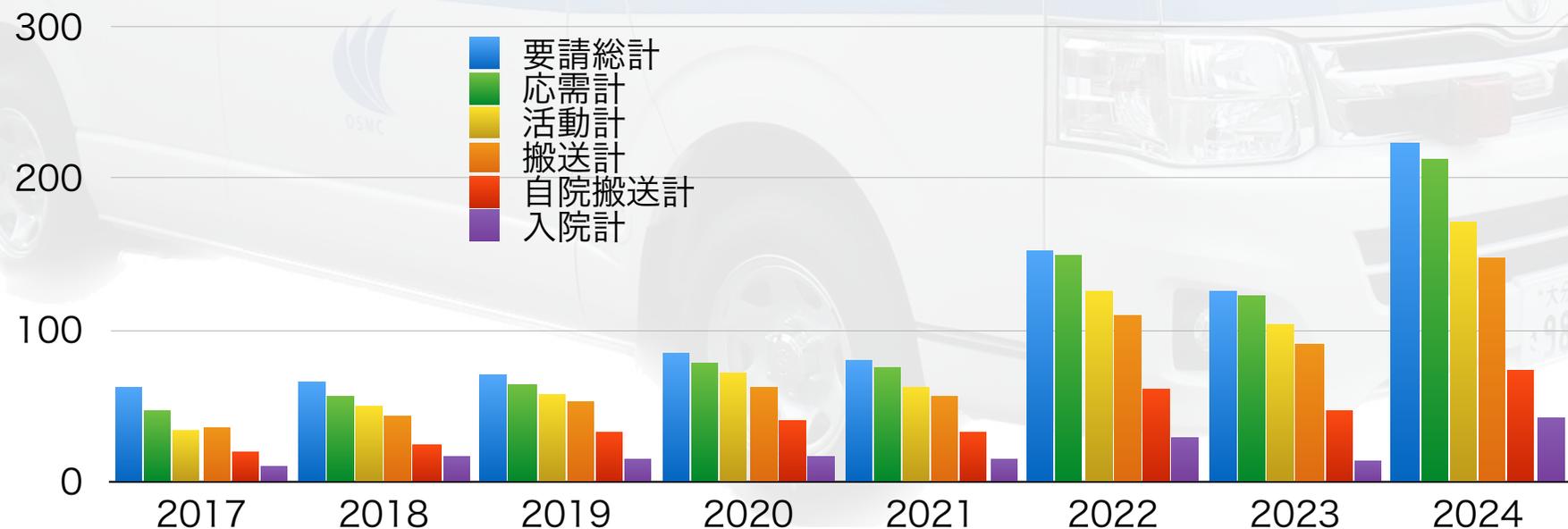


OSMC ER 病院前救急活動

2018年～2024年

● 各種件数

- 多くの要請に応需（応需率90%）していますが、応需の内20%ほどは出動途上でキャンセルとなっています
- 傷病者に接触後、90%ほどは搬送になり、その内50%ほどは自院（OSMC）への搬送となっています
- 傷病者の病態及びかかりつけ情報により適切に搬送先医療機関を選定しています（必ずしも自院へ連れて帰る活動ではありません）
- 自院へ搬送した傷病者の内、50%ほどが入院となっています



大分三県メディカルセンター

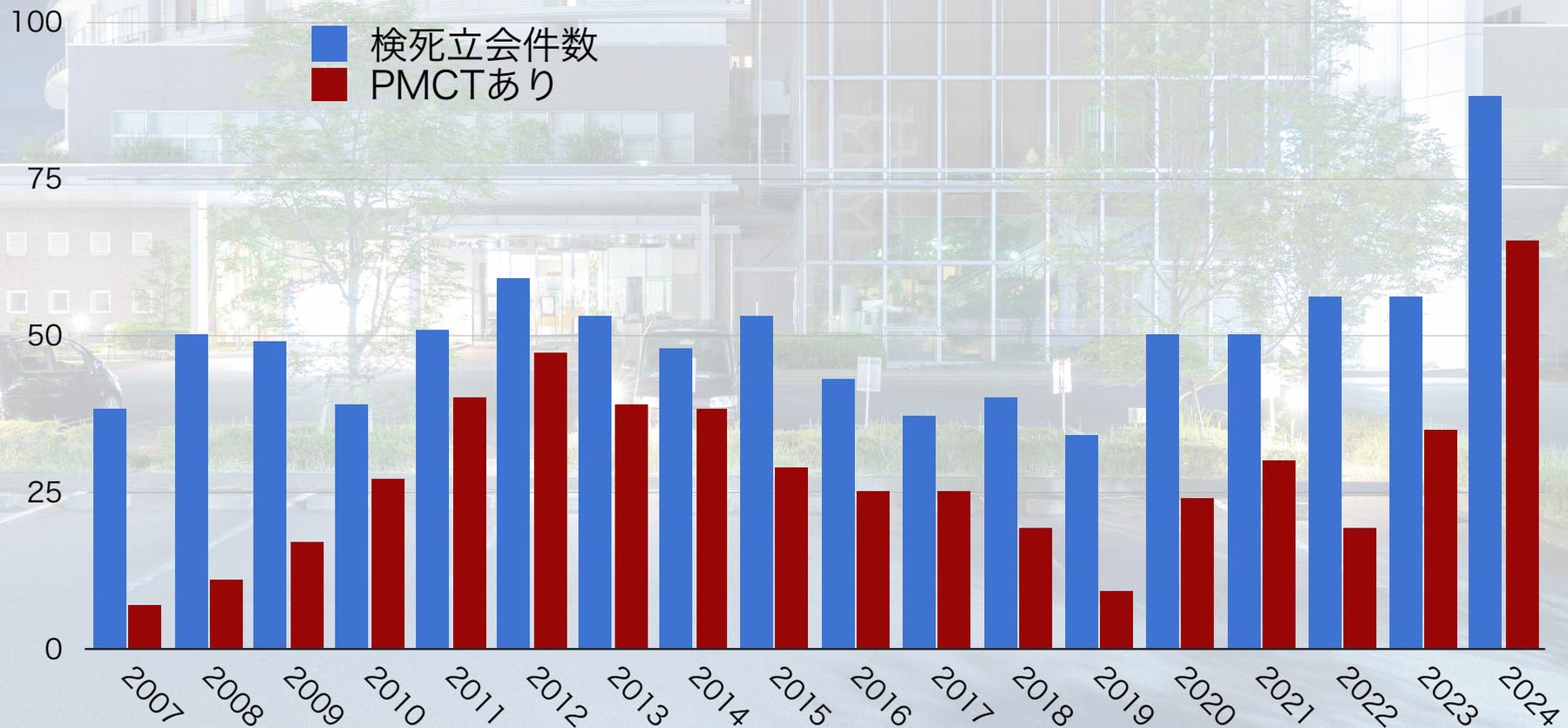
検死



検死立会件数

2008年～2024年

- 警察からの依頼により検死に協力しています
 - 2023年までは50件前後でありましたが、2024年は件数が大幅に多くなりました
 - 2024年は検死立会の内、75%にPMCT検査が実施されています



OSMC ER

目標と取り組み

- **250症例/月の救急車症例受け入、1000症例/年以下の救急受け入れ断り**
- **150症例/年の病院前救急現場活動の維持**
- **警察捜査（検死を含む）への協力**